

議会だより しずし /

No.193

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11

ホームページは「酒々井町議会」で検索してご覧ください ☎043-496-1171

令和元(2019)年11月1日発行

夢 を釣り上げて

中央保育園わんぱくまつり

9月28日に中央保育園で保護者会主催のわんぱくまつりが開かれました。子どもたちは釣りゲームや輪投げなどでお祭りを満喫していました。

平成30年度決算および議案審議等……………P2~P9

委員会、本会議での審議結果……………P10~P11

公共施設整備や道路整備、福祉問題
など議員12名が町政を問う……………P12~P18

130th
2019
千葉県
酒々井町誕生130年!!
日本が一番古い町・酒々井

財政力指数も 向上

9月定例会の概要

9月定例会は、9月3日から9月25日まで23日間の会期で開催され、町長から議案20件、報告1件および議員提案の発議案2件が提案され、それぞれ審議を行いました。審議の結果、議案第16号の一般会計補正予算を減額修正しましたが、その他の議案等はいずれも原案のとおり可決しました。

また、町長から「町政施行130周年記念事業第4回酒々井・千葉氏まつりの開催について」などの行政報告が4件表明されました。

なお、各会計の決算については、議員6名による「決算審査特別委員会」を設置し、集中的に審議しました。

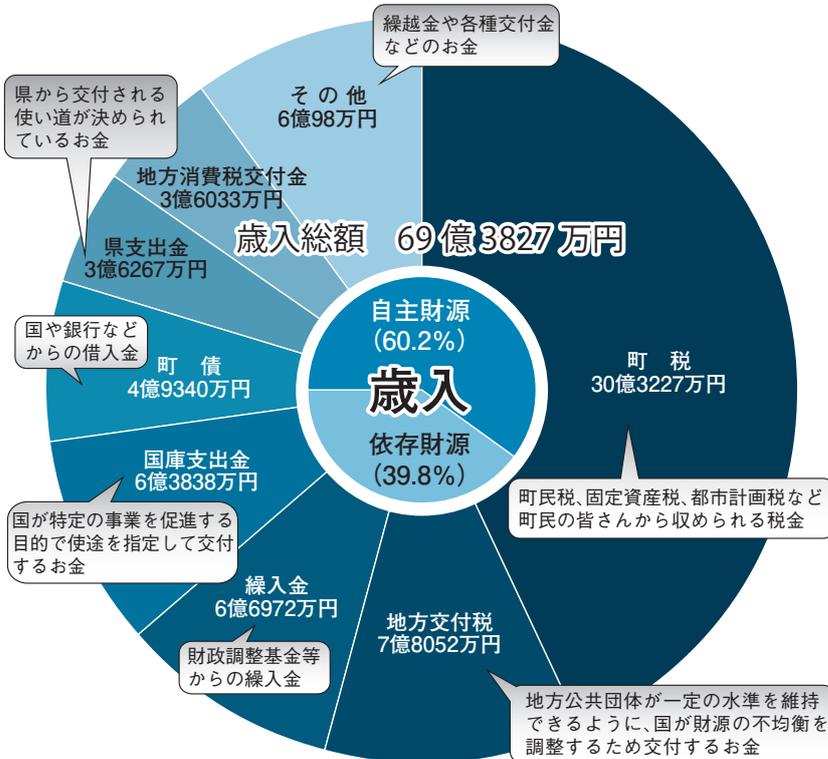
一般質問は12名の議員が2日間にわたり行い、地域振興、防災対策など、町政全般について町長や教育長、各課長に説明を求めました。

なお、台風の影響に伴い日程を一部変更しました。

<歳入の概要>

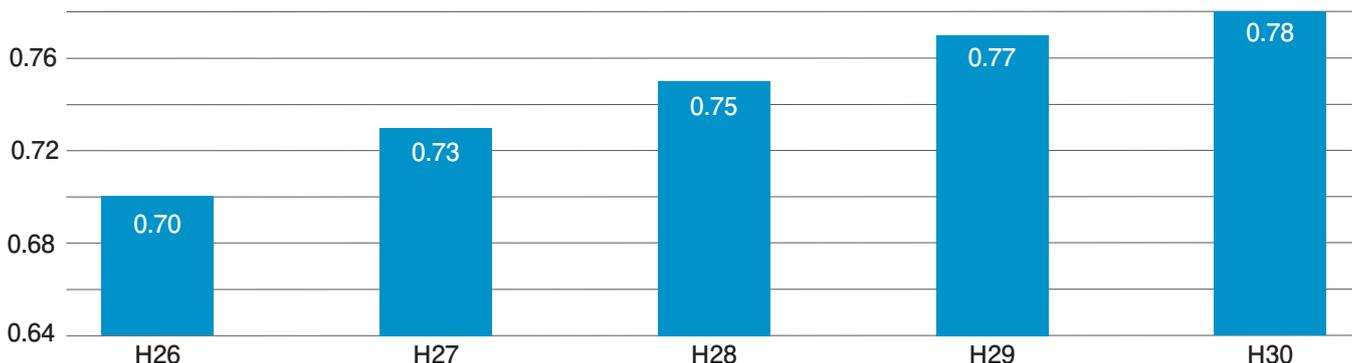
町 税は、法人町民税、個人町民税などの増加により、前年度比3301万円の増額、地方交付税は、町税の増加による普通地方交付税の減少などにより、前年度比4057万円の減額、寄付金は、ふるさと納税の増加により、前年度比728万円の増額、町債は、子ども・子育て支援事業債などの借入増加により、前年度比270万円の増額となっています。

また、自主財源比率は、町税などの増加により、前年度比5950万円増額し、歳入構成比の60.2%となっています。



※千の位で四捨五入しています。

<財政力指数の推移>



※財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す数値で過去3年度の平均値です。数値が1に近いほど普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があると言われています。

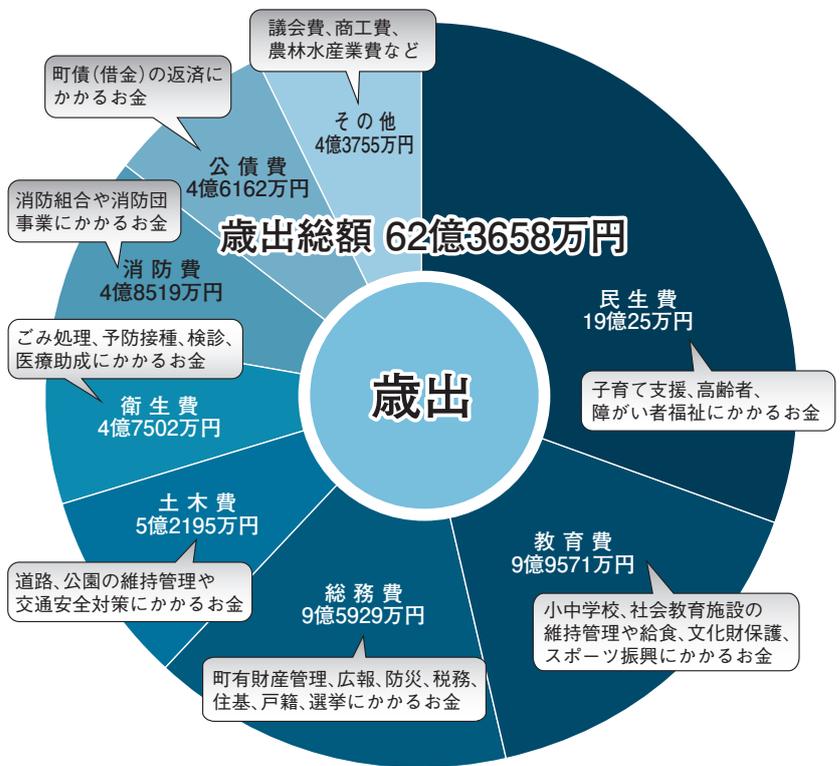
町税等が着実に増加し

一方で義務的経費の増加

財政調整基金の取り崩しも

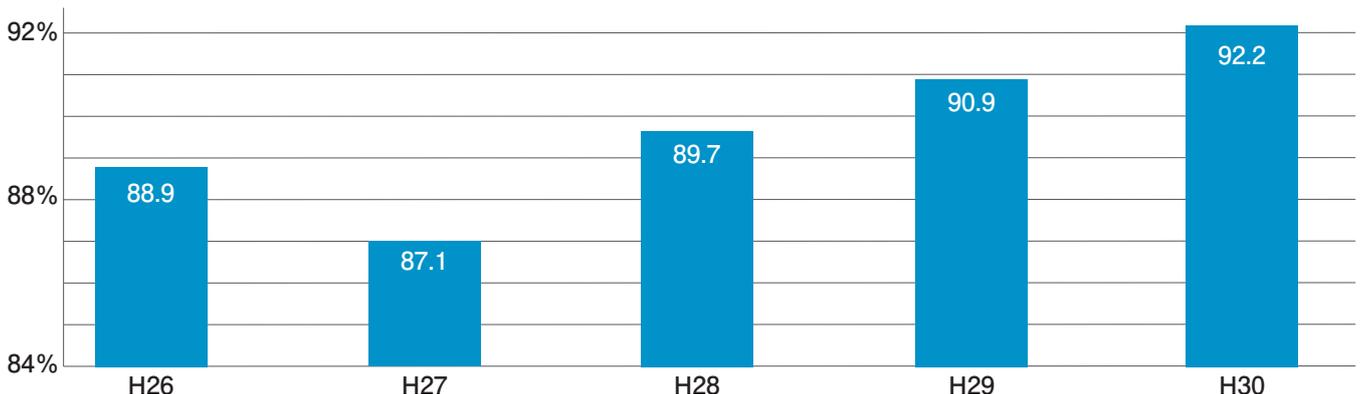
<歳出の概要>

総務費は、減債基金および都市計画事業基金への積立金などの減少により、7631万円の減額、民生費は、施設型給付費・地域型保育給付費の増加などにより、前年度比7881万円の増額、商工費は、まるとしすい整備工事の増加などにより、前年度比9258万円の増額、土木費は、社会資本整備総合交付金を活用した道路工事などの減少により、前年度比7096万円の減額、教育費は、中央公民館耐震補強工事の減少などにより、前年度比9273万円の減額、公債費は、前年度比4140万円の増額となっています。



※千の位で四捨五入しています。

<経常収支比率の推移>



※経常収支比率とは、財政構造の弾力性を判断する数値で人件費、扶助費、公債費の義務的性格の経常経費が町税、普通交付税などの経常的一般財源に占める割合です。数値が低いほどいろいろな事業に使えるお金に余裕があると言えます。

平成30年度決算に関する討論

私は賛成です

**厳しい財政状況において
事業の投資効果、緊急性に
十分配慮している**

越川 廣司 議員

酒々井町の財政状況については、税収の増収があったが、全体的には前年度に引き続き厳しい状況である。その中において、経常経費の削減に取り組みつつ、事業の投資効果および緊急性に配慮しながら、財源の重点的、効率的配分に努めるとともに、総合計画等を考慮しながら、事業が実施されている。ま



アウトレットのほか様々な企業が進出した酒々井南部地区新産業団地

た、町全体の経営健全化判断比率についても適正な比率が示されており、賛成する。

私は反対です

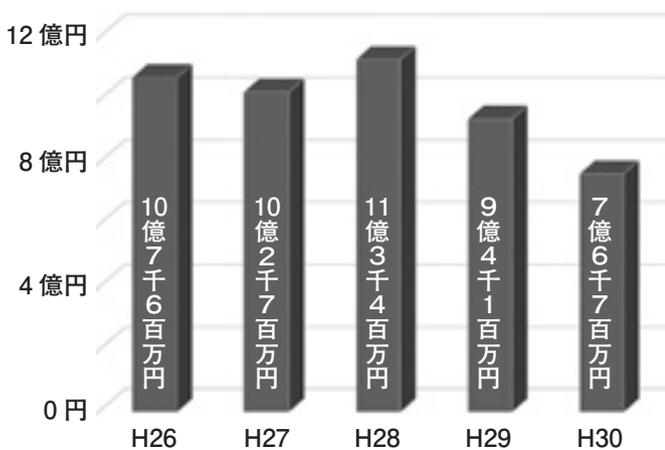
**基金を取り崩し町民の
要求を実現すべき**

地福 美枝子 議員

町の財政力は安定した状況となっている。増税を前に町民の暮らしは不安定。町の基金の合計は約23億円で2億円を使うだけでも切実な要求を実現させることができる。具体的な要望として「まるごとしすい」は今後の課題。町職員に建築・電気など技術職員を雇用する。公有財産は適正な管理に。ちびっこ天国は今後の利用を早急に示すこ

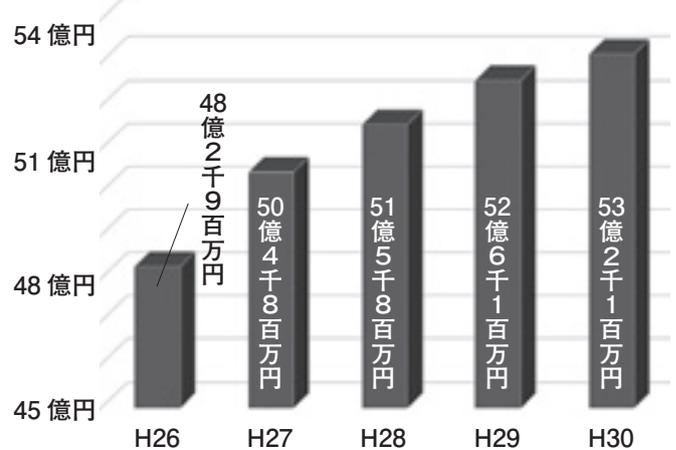
と。中学校体育館改修や整備の予算を確保することなど。もう一つの反対理由は町民の負担になる安倍政権・自公政権の施策に批判的な立場を持たず、これを容認している姿勢である。消費税を社会保障の財源として10%増税を容認。特別養護老人ホームの入所要件は介護3以上に限定。マイナンバー制度は町民には何のメリットもなく、莫大な費用をかけて行っていることなど、国や県の言いなりの町政であることから反対する。

<財政調整基金（貯金）の推移>



※財政の不足を調整したり、急激な税の落ち込みや災害などに備えるための積立金です。また、財政調整基金以外にも使用目的の決まった基金があります。

<町債（借金）残高の推移>



※町が学校や道路等の整備のために国や金融機関等から長期的に借り入れた資金の残高です。平成30年度の町債のうち臨時財政対策債分が37億500万円を占めています。

※臨時財政対策債とは、地方交付税として交付するべき財源（国の地方交付税特別会計の財源）が不足した場合に、地方交付税を減額し、減額分を地方公共団体自らが地方債として発行する制度です。元利償還金に要する費用は後年度の基準財政需要額に算入（地方交付税措置）されます。

決算審査特別委員会での意見・要望事項

〔一般会計〕

- 町民の様々な相談について、予算を増額し、いつでも相談ができるよう人的体制を整え、充実した対応ができるよう努められたい。
- 小学生、中学生を対象とした海外（ドイツ・オーストラリア）派遣事業、県外（北海道陸別町・群馬県長野原町）派遣事業については、教育の機会均等、目的効果から事業の再検討をされたい。
- 子どもの発育について、障がいがあれば早期に発見し、支援することが重要なことから、より充実した発達の確認ができるよう検討されたい。
- ふれ愛タクシーは1台増車し、当初のとおり4台で運行できるように検討されたい。
- ちびっこ天国について、今後の利用方針を早急に定められたい。
- 農業の担い手、新規就農者に係る補助金について、農業者確保の観点から継続されるよう努められたい。
- GIS（地理情報システム）については、町民がより便利にかつ簡易に活用できるようにされたい。
- 公有財産の管理について、適正な管理ができるよう努められたい。
- 町の技術職員について、1級建築士などを雇用し、事業が円滑に進むよう計画的に雇用されたい。



現在3台で運行している「ふれ愛タクシー」

〔水道事業会計〕

- 水道事業は町民の生活に直結していることから、災害時においても安定供給できるよう施設を整備し、今後も適切な管理運営を継続されたい。

<決算審査特別委員会>

委員長 御園生浩士 副委員長 竹尾 忠雄
 委員 小早稲美穂 白井 則邦 大石 法子 酒瀬川 芳子

◆議案第13号 平成30年度各種会計決算額◆

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療	議決結果
歳入総額	69億3826万7千円	39億5165万6千円	23億9383万9千円	12億9563万2千円	2億6218万5千円	原案認定 (賛成13人 反対2人)
歳出総額	62億3657万5千円	38億8697万2千円	23億4952万4千円	12億7593万5千円	2億6151万3千円	

◆議案第14号 平成30年度水道事業会計決算額◆

収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	議決結果
5億6098万3千円	3億7763万9千円	2億4157万3千円	6億4045万6千円	原案認定 (賛成15人 反対0人)

◆議案第15号 平成30年度下水道事業会計決算額◆

収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	議決結果
3億7429万円	4億1459万6千円	1億1510万5千円	2億1566万円	原案認定 (賛成15人 反対0人)



幼児教育・保育無償化がスタート

幼児の給食費は保護者が実費を負担



3歳児から5歳児の保育料が無償化、保育料に含まれていた給食費は保護者の実費負担に

令和元年9月定例会で上程された議案は次のとおりです。

議 案

〔議案第1号、第5号、第6号〕
会計年度任用職員の創設に伴い条例を制定、また、関係する条例を一部改正

議案第1号は、臨時・非常勤職員の適正な任用・勤務条件を確保することを目的に会計年度任用職員制度が創設されたことに伴い、当町においても新たに会計年度任用職員の給与および費用弁償を定めるため、条例を制定するもの。また、議案第5号、議案第6号は会計年度任用職員制度の創設に関連し、条例または規則で別に定めることができるように改正するもの。
 ※賛成多数で可決

〔議案第2号〕
地方創生拠点整備基金条例を制定

令和元年度から2か年の事業期間の本佐倉城跡入口広場整備事業を実施するにあたり、財源として、地方創生拠点整備交付金を原資とする基金を新たに造成する必要があることから、当該基金の管理および処分に関し必要な事項を定めるもの。
 ※全員賛成で可決

〔議案第3号〕
まるごとしすいの開設に伴い条例を制定

地域創造発信拠点施設「まるごとしすい」の開設に伴い、設置および管理に関する条例を制定するもの。
 ※賛成多数で可決



まるごとしすいオープン時に買い物をする方々

〔議案第4号〕
住民票に旧氏の記載を希望した場合に印鑑登録証明書などにも旧氏が併記されるもの

住民基本台帳法等の改正により、「氏」または「氏名」に関する表記の次に「旧氏」を加えるもので、住民票に旧氏の記載を希望した場合は、印鑑登録原票や印鑑登録証明書にも旧氏が併記されることとなるため、印鑑条例の一部を改正しようとするもの。
 ※全員賛成で可決

【議案第7号】
消費税法の改正に伴い
使用料の率も同様に改正

消費税法の改正に伴い、行政財産使用料条例で規定する使用料の算定に使用している率について、同様に改正を行うもの。
※賛成多数で可決

【議案第8号、第9号】
幼児教育・保育無償化が
スタートすることに伴
い関係条例を一部改正

子ども・子育て支援法の改正により、幼児教育・保育無償化がスタートすることに伴い、文言整理を行うとともに、現行の3歳児から5歳児の保護者が負担している保育料が無償化されるにあたり、これまで保育料に含まれていた給食費（副食費）が保護者の実費負担となることから、これに係る規定を改正するものであり、現行に合わせて見直しを行うもの。
※賛成多数で可決

【議案第10号】
土砂の埋め立てが当町
に集中しないよう規制
強化するもの

本条例は、平成29年に安全基準の規制強化をする改正をしている。しかし、近隣市町ではさらなる安全基準の規制強化、許可手続きの厳正化等が進んでおり、事業申請が当町に集中する可能性もあるとの認識から、埋立て事業者に土地を提供する土地所有者の責務、申請前の事前協議の義務化、事業への周辺同意を明文化する等の許可条件等を追加し、指導管理の基盤強化を図るもの。
※全員賛成で可決

【議案第11号】
指定給水装置工事事業者
制度が改められること

水道法が改正されることに伴い、指定給水装置工事事業者制度が改められることから、条例の一部を改正するもの。
※全員賛成で可決

【議案第12号】
成年被後見人等に係る
欠格事項について見直
しを行うもの

成年被後見人等の権利の制限にかかる措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律が公布されたことに伴い、成年被後見人等に係る欠格事項について見直しを行うとともに、文言の整理を併せて行うもの。
※全員賛成で可決

【議案第13号、第14号、第15号】
一般会計、各特別会計、水
道事業会計、下水道事業
会計の歳入歳出決算認定

※詳細は2ページから5ページ
をご参照ください。

【議案第16号】
一般会計を増額

歳出の主な内容は、各種基金積立金、介護保険特別会計繰出金、多目的協働施設整備工事、幼児教育無償化に伴う子育てのための施設等利用給付などや道

路維持管理事業に係る各種業務委託、本佐倉城跡入口広場整備事業等により増額補正するもの。

歳入では、税制改正による軽自動車税環境性能割の創設、幼児教育無償化に伴う国・県支出金の増額や決算に伴う各特別会計からの繰入金および繰越金により、既定の予算を3億3311万2千円増額するもの。また、JR酒々井駅駐輪場整備事業の債務負担行為の設定をするもの。
※全員賛成で可決（修正部を除く原案）

【議案第16号 修正案】
馬橋川整備に関する
予算を削除するもの

補正予算を修正する理由は、馬橋川整備計画の全体計画、事業費、完成年度等が不明確であること。また、水路の閉塞の原因となった過剰盛り土について、原因者である事業者に対して損害回復請求が進展せず、今後の見通しが立たないこと。さらに、土地の取得単価が1㎡あたり2600円となっているが、

土砂や再生土が積まれており価格が適正ではないと考え、一般会計補正予算のうち公有財産購入費7215万6千円、工事請負費330万円を削除するもの。
※賛成多数で可決

＜一般会計補正予算額＞ 修正後

補正前	67億2007万3千円
補正額	2億5765万6千円
合計	69億7772万9千円

【議案第17号】
国民健康保険会計を増額

平成30年度決算の確定に伴い増額をするもの。
※全員賛成で可決

＜国民健康保険
特別会計補正予算額＞

補正前	23億1835万8千円
補正額	332万2千円
合計	23億2168万円

【議案第18号】
介護保険特別会計を増額

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定業務委託に伴う経費および平成30年度決算の確定等に伴うものを補正するもので、2068万4千円を増額するもの。
※全員賛成で可決

<介護保険特別会計補正予算額>

補正前	13億4534万円
補正額	2068万4千円
合計	13億6602万4千円

【議案第19号】
後期高齢者医療保険特別会計を増額

平成30年度決算の確定に伴うものを補正するもので、67万1千円を増額するもの。
※全員賛成で可決

<後期高齢者医療特別会計補正予算額>

補正前	2億6479万9千円
補正額	67万1千円
合計	2億6547万円

【議案第20号】
林氏の教育委員再任に同意

現教育委員会委員の林洋子氏が令和元年9月30日に任期満了となることから、林氏の再任について同意を求めるもの。
※全員賛成で同意



林 洋子さん

報告

【報告第1号】
決算に基づく財政健全化判断比率を議会に報告

平成30年度決算に基づく財政

健全化判断比率および資金不足比率について、監査委員の意見を付けて議会に報告するもの。
内容としては、一般会計と公営企業会計を含む全会計で赤字額はなく、早期健全化の基準値を大きく下回っていることから、健全段階にあることについて報告するもの。

発議案

【発議案第1号】
採決の方法に電子評決システムを加えるもの

電子評決システム導入に伴い、ボタンによる採決ができるように会議規則を変更するもの。
※全員賛成で可決

【発議案第2号】
宗吾参道駅を中心とした周辺整備に関する意見書

次の事項を要望する意見書を町長あてに提出するもの。
1 「酒々井ちびっこ天国」の跡地利用の検討に着手すること。
2 定住促進の受け皿のため京

成宗吾参道駅の周辺整備を図ること。

3 京成宗吾参道駅へエレベーター設置等で利便性の改善を図ること。
※賛成多数で可決

議案への反対討論

【議案第1号】
臨時職員の正規化や定員拡大など改善策がなく反対

地福 美枝子 議員

今回の条例は、臨時・非常勤の正規化や正職員の定員拡大など根本的な改善策がない。
任用の条件が限定されない創設で、臨時・非常勤の職を「人員の調整弁」としている現状が合法化され、地方公務員法の「無期限任用」の原則に反するなど理由から反対する。

【議案第3号】
施設の目的が多様である目的を特化すべきで反対

白井 則邦 議員

地域創造発信拠点施設の「まるとしすい」は中小企業等の経営基盤強化や特産品開発、販売支援、町内への誘客機能など多くの機能を持つ施設である。建物は会議や団体が使用するほか、相談ブースがあり、特産品販売用の棚がある。
しかし、実際の使用を考えると会議中に観光客が訪れたり、ダンス中に相談業務が行われるなど、ちぐはぐな状況も想定される。多様すぎる目的は効果を薄くする可能性がある。必要なのは選択と集中である。目的を特化し、建物の利用方法や専門家を置くなど、その目的、運営方法から検討し直すべきである。

【議案第8号、第9号】
幼児教育はすべて無償化すべきで反対

地福 美枝子 議員

この条例は、安倍総理が解散

の口実に消費税10%増税し使途は幼児教育の無償化としたものの。低所得者には恩恵が少なく、消費税増税分が重くなるだけで増税の口実にするもの。新たに副食費の実務負担が行政にかかる。また、公立施設は全額町負担。消費税の増税を中止し、消費税に頼らず、すべての幼児教育無償化を国に要求する。

議案への賛成討論

〔議案第16号〕

馬橋地区の安全安心のため土地を購入し管理すべきて賛成

小早稲 美穂 議員

近年、酒々井町で埋め立てが増えてきている。土壌汚染、災害防止の点からも本議案の環境保全対策費、河川事業費の土地は、現在、手が出せない状態であるが、この場所が住民の命綱であれば、なおさら、土地を購入して町で管理し、住民の安全・安心な生活のためにも、努力をお願いし賛成する。

修正案の反対討論

〔議案第16号 修正案〕

町民の生命・身体・財産を守るために修正案に反対

金塚 学 議員

町は町民の安心・安全を守るため、馬橋川を準用河川に指定し、不法残土の土壌調査を実施し、汚染物質の調査を行ってきた。また、町の顧問弁護士に法的問題を含めた解決策を相談し、本事業が必要であると庁内の会議で決定した。私は、今後人も人災とならないよう対応すること、原因を作った事業者に損害回復の費用請求をしていくと考えるが、まず、これ以上の被害を拡大させないことを願う「環境保全対策事業」「河川改修事業」を削除する修正案に反対する。

住民の安全・安心のため公有地化し整備すべきで修正案に反対

越川 廣司 議員

町は、顧問弁護士の意見、指導を受け、再度検討した結果、

今回の補正予算を計上した。用地購入により公有地化することで整備ができ、住民が安心して生活できると思われる。また、町からは再生土を有効利用することにより、数億円の経費削減につながる説明も受けたことから賛成する。

公有化を図り住民の安全・安心を確保する必要があるに反対

高嶋 長雄 議員

町は馬橋地区の皆さんの安全第一を考えた結果、予算を本定例会に提案した。この場所は、平成7年から残土業者による埋め立てが始まり、平成12年に国、県の同意を得ずに町の権限を越える協定を締結し、排水路の工事を公共事業と位置付けた。しかし、工事完了後、町への帰属が行われず、不法残土や再生土が埋め立てられた。その結果、暗渠管が崩落した土砂で詰まり、流水機能が確保されなくなった。また、顧問弁護士は「流水の阻害に対する対抗要件はない」との見解であり、公有化を図る以外の方法がないことから、本修正案に反対する。

修正案の賛成討論

〔議案第16号 修正案〕

全体計画が不明確土地の価格にも問題があり賛成

白井 則邦 議員

ある。以上の諸点から、今回の馬橋川整備予算の削減に賛成である。

現在の排水路の堆積土を撤去し、排水機能を回復すべきで賛成

竹尾 忠雄 議員

開運団地の方々の安全を確保する必要性には賛同するが、以下の点から本予算案に賛成できない。まず全体の計画が不明確である。そして土地の価格に問題がある。本来は、違法残土や再生土は、事業者または土地の所有者が自己の費用で撤去しなければならない。町が更地の土地の価格で購入し、町の費用で除去することになれば、土地所有者が利益を得て、町は二重に支出することになり不当である。また、購入する土地の位置も問題がある。県の是正区域も町が購入すれば行政代執行の要件である、他の手段が困難であるという点を満たさなくなるおそれがある。従って、どこかの土地を購入するかについても、適切な計画に基づき決定すべきである。

昨年8月臨時議会、9月定例会と2度も否決され、本日、当時と同様の予算が提案されたことは議会軽視と町長の責任は重大だと指摘する。本事業面積は約6万㎡、用地購入費約1億5千万円が必要、計画では約20m下にある暗渠管(直径1m20cmの管)を撤去し開渠にするとのこと。開渠の法面約2万㎡以上の維持管理が必要になる。また、河川の管理用道路が右岸、左岸に2本の道路と3か所の調整池がある。事業を進めるには莫大な事業費が必要である。開運団地の方々は現在の排水路の堆積土を撤去し、排水機能を回復することが願いでそれに応えるべきではないか。全体の事業費が明確でないのに、全体の用地購入のみを認めることはできないことから反対する。

各常任委員会での審査結果

※件名は一部省略しています。

◎…委員長

○…副委員長

総務常任委員会

※議会事務局、総務課、企画財政課、税務住民課、委員 ◎地福／○御園生
会計室、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評
価委員会、その他の事務についての審査を担当
江澤／齊藤
小早稲

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	4	0	原案可決
議案第2号	地方創生拠点整備基金条例の制定	4	0	原案可決
議案第4号	印鑑条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第5号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第6号	一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第7号	行政財産使用料条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第12号	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第16号	一般会計補正予算	4	0	原案可決

教育民生常任委員会

※住民協働課、健康福祉課、
教育委員会についての
審査を担当

委員 ◎川島／○白井
佐藤／内海
金塚／大石

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第8号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	5	0	原案可決
議案第9号	町立保育園設置に関する条例の一部改正	5	0	原案可決
議案第16号	一般会計補正予算	5	0	原案可決
議案第17号	国民健康保険特別会計補正予算	5	0	原案可決
議案第18号	介護保険特別会計補正予算	5	0	原案可決
議案第19号	後期高齢者医療特別会計補正予算	5	0	原案可決

経済建設常任委員会

※経済環境課、まちづくり課、
上下水道課、農業委員会に
ついての審査を担当

委員 ◎須藤／○竹尾
高崎／越川
酒瀬川

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第3号	地域創造発信拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定	3	1	原案可決
議案第10号	土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第11号	水道給水条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第16号	一般会計補正予算	3	1	原案可決

本会議での 議決結果

議案と議決結果

賛成・・・○ 反対・・・× 議長は採決に加わりません。

番号	件名	本会議の採決結果																	
		採決結果	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	須藤	御園生	川島	齊藤	内海	佐藤	江澤議長	竹尾	地福	越川	高崎	
<新規条例の制定>																			
1	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○
2	地方創生拠点整備基金条例の制定	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
3	地域創造発信拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定	可決 (賛11・否4)	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	×	×	○	○	
<条例の一部改正>																			
4	印鑑条例の一部を改正する条例の制定	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	
5	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○	
6	一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○	
7	行政財産使用料条例の一部改正	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○	
8	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○	
9	町立保育園設置に関する条例の一部改正	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○	
10	土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	
11	水道給水条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	
12	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	
<決算認定>																			
13	平成30年度酒々井町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○	
14	平成30年度酒々井町水道事業会計決算の認定	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	
15	平成30年度酒々井町下水道事業会計決算の認定	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	
<令和元年度補正予算>																			
16	一般会計補正予算に対する修正案	可決 (賛8・否7)	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	—	○	○	×	×	
	一般会計補正予算の修正部分を除く原案	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	
17	国民健康保険特別会計補正予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	
18	介護保険特別会計補正予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	
19	後期高齢者医療特別会計補正予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	
<人事>																			
20	教育委員会委員の任命同意	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	
<発議案 議員提出の議案>																			
1	議会会議規則の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	
2	京成宗吾参道駅を中心とした周辺整備の促進に関する意見書	可決 (賛10・否5)	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	×	

※件名は一部省略しています。

ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、町の執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。9月定例会の一般質問は、9月24日と25日の2日間で12名の議員が行財政全般にわたり、今後の対応策などについて質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、町のホームページからもご覧いただけます。9月定例会の会議録は、12月上旬以降、閲覧することができます。



酒々井町マスコットキャラクター
井戸っこ（しすいちゃん）

No.1 金塚 学 議員・・・・・・・・・・P 13

- ◆安心・安全で住みよいまちづくりの推進
- ◆町の活性化および快適な住環境
- ◆地域経済の振興・発展支援

No.7 酒瀬川 芳子 議員・・・・・・・・・・P 16

- ◆認知症対策における町の取り組み
- ◆酒々井町の児童・生徒の学力の現状

No.2 大石 法子 議員・・・・・・・・・・P 13

- ◆当町の公共施設内におけるAED設置状況
- ◆町指定ゴミ分別袋
- ◆軽自動車税納税証明書の発行

No.8 小早稲 美穂 議員・・・・・・・・・・P 16

- ◆ふれ愛タクシーの増車
- ◆循環バスの運行

No.3 須藤 伸次 議員・・・・・・・・・・P 14

- ◆現在の事案の進捗状況等

No.9 白井 則邦 議員・・・・・・・・・・P 17

- ◆投票率の向上
- ◆国民健康保険料

No.4 佐藤 修二 議員・・・・・・・・・・P 14

- ◆地域創造発信拠点施設
- ◆町道02-008号線（消防署に向かう）道路延伸
- ◆町発注工事の工事監理、安全管理

No.10 齊藤 博 議員・・・・・・・・・・P 17

- ◆ふれ愛タクシーの町内定時循環運行
- ◆公共施設等総合管理計画および個別施設計画
- ◆家族介護慰労金支給事業

No.5 御園生 浩士 議員・・・・・・・・・・P 15

- ◆酒々井中学校体育館の改修
- ◆ふるさと納税
- ◆酒々井町青少年交流の家
- ◆働き方改革
- ◆町の総合計画

No.11 竹尾 忠雄 議員・・・・・・・・・・P 18

- ◆町道02-006号線上岩橋上郷地区の通学路の安全対策と片側通行解消
- ◆教育環境の整備
- ◆地域創造発信拠点施設「まるごとしすい」
- ◆ちびっこ天国
- ◆馬橋地区の再生土崩落

No.6 川島 邦彦 議員・・・・・・・・・・P 15

- ◆ちびっこ天国の今後
- ◆がん検診に前立腺がんの追加を

No.12 地福 美枝子 議員・・・・・・・・・・P 18

- ◆子育て支援
- ◆国民健康保険の軽減
- ◆道路の舗装・整備
- ◆学校教育

※各議員の質問事項については、本紙に掲載してある質問をゴシック体で表記してあります。

問

「墨入口交差点」の右折レーン設置に関し進捗状況は

答

県が右折レーンの概略設計を実施したが今後も早期完成を要望していく



金塚 学 議員

問 国道と県道が交わる「墨入口交差点」は、国道296号には右折レーンが設置されているが、県道77号線と旧国道296号（東酒々井団地入口側の道路）には右折レーンが設置されていない。道路管理者である県との協議に関し進捗状況はどうか。

ように計画しているのか。
まちづくり課長 ベンチ等は、経年劣化があり、危険な部分は撤去するなどの応急対応をしている。今後は植樹ます等の植栽およびベンチ等の歩道空間について、将来の維持管理を考慮したリニューアルを検討していく。

酒々井産の食材を活用したレシピや写真を広報紙に掲載しては

副町長 これまで町は県に右折レーンの設置を要望してきた。そして、今年度に右折レーンの設置のための概略設計が実施された。今後も県に対して必要な予算の確保と工事の早期完成を要望するとともに、用地交渉の支援等、町ができる協力をしていく。

問 地元酒々井産の旬の野菜は美味しただけでなく、栄養も豊富であることから食育のみならず、健康面でも広く町民の皆さんに認知されるべきである。地元農産物の宣伝効果もあることから「広報ニューしすい」へ地元野菜を使った写真やレシピの掲載はどうか。

ふじき野の道路管理の状況は

問 地元酒々井産の旬の野菜は美味しただけでなく、栄養も豊富であることから食育のみならず、健康面でも広く町民の皆さんに認知されるべきである。地元農産物の宣伝効果もあることから「広報ニューしすい」へ地元野菜を使った写真やレシピの掲載はどうか。

① 歩道に配置された植栽部分に繁茂する雑草等の除去に関し、年間計画をしているのか。

経済環境課長 今後も広報紙の「給食レシピ」のコーナーを活用するとともに、地元農産物を活用した料理の募集・紹介、小学生の農業体験など、食に対する理解を深めるため教育関係者や保健福祉などの関係機関と連携し、地元農産物の推奨・普及を図っていききたい。

まちづくり課長 街路樹年間管理業務の中で剪定のほか、植樹ます等の除草を併せて行なっている。

② 老朽化したベンチ等の改修はどの

問

AEDの屋外設置とビンごみ袋の小容量化について伺う

答

AEDは課題等を考慮し検討する小さいごみ袋は要望もあり検討する



大石 法子 議員

問 一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者の中で1か月後生存者数と救命率は53・5%、さらに社会復帰者数は45・7%となっている。逆に除細動が1分遅れるごとに救命率は7から10%下がる。このことからできるだけ早い段階での除細動をすることで生存率があがることがわかっている。それをふまえ、当町における自動体外除細動器AEDの町民への周知方法と屋外設置の有無を伺う。

問 現在、高齢化が進み、全国的にゴミ出しについての議論が進んでいる。酒々井町においても、高齢化が進む中今後十分に考えていかなければならないことから、町指定ビンごみ袋の小容量化の実現について伺う。

健康福祉課長 各施設の出入り口や事務室の入り口などに「AED設置施設」のステッカー等の掲示をしているが、今後は、町内公共施設の設置場所について、町ホームページや広報等を活用し情報を発信するとともに、人目のつくところにAEDの設置場所を表示するなど、利用者への周知徹底に努めていく。また、屋外への設置は、盗難やいたずらの可能性があるなど課題等を考慮しながら検討していきたい。

小さいごみ袋の作成を提案するが

問 現在、高齢化が進み、全国的にゴミ出しについての議論が進んでいる。酒々井町においても、高齢化が進む中今後十分に考えていかなければならないことから、町指定ビンごみ袋の小容量化の実現について伺う。

経済環境課長 燃やせるごみの袋以外の袋の小容量化は、高齢化や核家族化により搬出の頻度や重量等の観点から少容量化を希望される要望があることから、ごみの袋のサイズや容量を規定する町の規則の更新について検討したいと考えている。



役場中央庁舎の正面玄関に設置されているAED

問

県道宗吾酒々井線と町道横町下台線の完成までのスケジュールは

答

県事業に協力しながら早期完成に努めていく



須藤 伸次 議員

問 現在数々の事業があるが、次の点について、進捗状況等を伺う。

① 県道宗吾酒々井線と町道横町下台線（02-009号線）の今後の計画、完成までのスケジュールを具体的に伺う。また、当該道路の町所有地の適正管理について併せて伺う。

まちづくり課長 町道は、無電柱化に係る電線共同溝工事、県道との交差点に係る線形改良工事、舗装工事が残っている。県道は家屋移転等との兼ね合いがあり、線形改良が実施できない状況であることから、用地取得を円滑に進めるため、町と県が用地事務委託契約を締結した。今後は県事業に協力しながら、町道の早期完成を目指していく。また、町所有地の管理については、除草等の対応に努めていく。

② しやすいの森パークゴルフ場の跡地利用について、町民からパークゴルフ場の継続要望があるが、今後の具体的な土地利用計画と完成時期等を伺う。

まちづくり課長 この土地についての問い合わせはあるが、具体的な計画は現在のところ未定である。

③ 酒の井の碑が設置されている土地と隣接地の建物について、具体的な活用方法と町の方針を伺う。

住民協働課長 酒の井の碑隣接地の形状は、隣接する町道との高低差が80cm近くあることから、駐車場として整備するための造成工事費と既存の建物の改修工事費を今回補正予算として計上しており、今年度内の利用開始を目的に作業を進めている。

④ 馬橋地区における土砂崩落について、現在の進捗状況と全体計画、完成時期を伺う。

副町長 馬橋地先の冠水を防ぐためには、盛土事業の進行を止めること、排水路の流水機能を確保することを最重要課題とし、町が整備しなければならぬと考えている。暗渠管部分の土地は、顧問弁護士によれば、流水の阻害に対する対抗要件がないことから、公有地化が必要との見解であった。また、この区域の土地が転売等により所有者が分散されると、今後の対応・整備に支障を来す恐れがあり、本議会に用地取得費用を計上している。

問

まるごとしやすいの運営方法は

答

事業者支援等の業務は県と連携し観光等はボランティアと協働していく



佐藤 修二 議員

問 「まるごとしやすい」を拠点とした観光物産等の情報発信、商品開発や販路確立等の相談支援機能を有する施設とし、また中小企業や小規模事業者の支援、町民サークル団体への創作活動への場の提供等、町内へ広く誘客を図るための観光案内機能を併設した施設と説明しているが、具体的にどのような運営を目指しているのか伺う。

経済環境課長 中小企業や小規模事業者の支援等の専門的な業務は千葉県産業振興センターとの連携により、商品開発等は委託事業として、観光を含めたその他の業務は嘱託職員1名を採用し、ボランティア団体と協働により運営していく。また、当施設で飲食店や物販店、観光施設などの情報を発信するとともに、イベント開催における情報の発信やレンタサイクルの活用などにより、町内への誘客を図っていく。

中央台から消防署に向かう道路計画の進捗状況は

問 中央台1丁目さわやか中央通り（町道02-008号線）の中川を横断

し消防署に向かう道路延伸について、今後の予定を伺う。

配水管工事の安全管理の状況は

問 今年に入って東酒々井地区で配水管布設工事あったが、工事が始まると住民から「聞いていない」との苦情や保安要員とのトラブルが見られた。通常は工事着手前に地元説明会が行われるが、町は安全管理や施工管理をどのように指導しているのか。また、設計時に安全費は含まれているのか伺う。

上下水道課長 安全管理および施工管理は、千葉県水道工事標準仕様書に従って指導しており、工事契約後に施工計画書を提出させ施工方法等の内容を確認している。また、工事の前に町から回覧で周知を行い、施工業者が工事直前に各戸を訪問し、工事予定日等のお知らせを行っている。安全費は、工事看板設置、交通誘導員配置等の安全対策に係る経費を計上している。

問

中学校体育館改修の工事予定を伺う

答

来年2月下旬の工期で実施設計を作成し、完了後工事を実施したい



御園生 浩士 議員

問 体育館の改修について、設計の発注時期と入札予定年月、工事着手と完成年月を伺う。
子ども課長 現在、来年2月下旬までの工期で実施設計を作成している。設計の完成後、工事を実施したいと考えている。

ふるさと納税の収支は

問 ふるさと納税による2018年度の寄附額が前年度の1.4倍(5127億円)で過去最多を更新した。県内では長生村がトップで6億2600万円と公表されたが、当町は何位で金額はいくらか。収支決算も含めて伺う。

企画財政課長 2018年度のふるさと納税の寄附受入金額は1794万4千円で千葉県内で37番目、寄附の件数は1396件で30番目である。経費については、1023万7109円となっている。

青少年交流の家に要した経費は

問 「青少年交流の家」に関する裁判



青少年交流の家の現状

等に要した経費合計と、弁護士費用について、1人1回いくらか伺う。
教育次長 今までの経費は、訴訟に係る印紙代1万9千円、郵便代6千円、弁護士委託の着手金64万8千円、弁護士委託料1回、10万8千円の9回で97万2千円、合計164万5千円である。

問

跡地利用の検討時期では

答

プールの再開を含め多目的利用等様々な可能性を探っている



川島 邦彦 議員

問 酒々井ちびっこ天国について、次の点を伺う。

① 老朽化による修繕費用に加え休園が続いている。閉園の検討時期ではないか。

経済環境課長 ちびっこ天国は拠点施設として重要な位置付けであり、プールの再開を含め多目的利用や新たな集客施設等、様々な可能性を探っている。
 ② 施設撤去費用とちびっこ天国基金残高との関係を問う。

経済環境課長 撤去費用は過去の見積だと2億円程度で基金は令和10年度で約1億7206万円となる予測だが、その前に施設の活用を検討していく。

③ 駐車場等に提供していた土地を閉園後、原状回復の支援をする予定は。
経済環境課長 支援等は考えていない。

④ 京成電鉄(株)の車両基地拡張計画があるようだが駅前環境の大きな変化が想定される。町が把握している情報は。

まちづくり課長 京成電鉄からは宗吾車両基地の南側に敷地を拡張し、新しい施設を建設して現在の老朽化した施設を撤去し、線路を増設して車両の留

置能力を拡充する計画と聞いている。

⑤ 駅前整備は積年の課題だが①車両基地拡張②ちびっこ天国③駐車場等を活用した整備のチャンスではないか。グラウンドデザインを伺う。

まちづくり課長 当駅周辺は地域の拠点としての機能が備わっていないことから、周辺住民の生活利便性の向上に資する施設等の誘導や町の魅力アップなどにより、新たな若年世帯の定住促進を図るとともに、京成電鉄へのトップセールス連携強化により、活性化につなげていきたいと考えている。

前立腺がんの検査を追加できないか

問 町のがん検診について①「前立腺がん」を追加できないか②過去に実施していたようだが停止した理由は何か③いずれにせよ町民の不安解消のための措置を要望する。

健康福祉課長 厚生労働省より死亡率減少を示す証拠が不十分な検診を勧めないとしたことから中止している。進行が遅くきちんと治療をすれば死亡原因となることが少ないとされている。

問

認知症対策における町の取り組みについて

答

認知症への理解を深めるため認知症サポーター養成講座を実施している

問 認知症対策における町の取り組みについて、次の点を伺う。

① 今後の認知症サポーター養成講座の開催予定は。

健康福祉課長 引き続き年2回程度の開催を予定している。そのほかにも、自治会やサークル、団体等から開催の要望があった際は、出前形式での開催も含めて随時開催する予定である。

② 認知症支援策の一つとしてのオレンジカフェの開始時期、回数、参加人数は。

健康福祉課長 平成30年7月から月1回開催し、本年8月末現在、13回、延べ411人の方が参加している。

③ 高齢者の通いの場として、気楽に集える場所をどのように考えているか。

健康福祉課長
現在、東酒々井5丁目目のさるすべり公園隣接地に高齢者等が集うことができる交流施設の建設を準備している。



オレンジカフェ



酒瀬川 芳子議員

そこでは趣味等の活動や会食を行い日中の居場所づくりとして提供し、要支援者、障がい者や子ども高齢者も加わることができる共生型を考えている。

児童生徒の学力向上策は

問 酒々井町の児童・生徒の学力の現状について、次の点を伺う。

① 2019年度、全国学力テストの結果と、児童・生徒の学力の現状は。

教育長 酒々井町の小学校では、国語科で正答率が千葉県平均をやや上回り、算数科ではほぼ同程度、中学校においては国語科・数学科・英語科ともに、千葉県平均をやや上回るという結果となっている。

② 児童・生徒のさらなる学力向上のために、町としての今後の計画は。

学校教育課長 今まで実施してきた取り組みを継続していくことが重要であると考えている。また、家庭学習の習慣化も必要不可欠となることから、小中学校の教職員と保護者がさらに連携・協力していけるよう、町教育委員会として支援していきたいと考えている。

問

ふれ愛タクシーの1台増車を

答

循環バスを試行運行するなどし多様な交通手段を検討していく

問 ふれ愛タクシーが運行するようになった経緯は。

健康福祉課長 路線バスの廃止に伴う遠距離児童の通学手段の確保と高齢者等の交通弱者の利便性の向上を目的として、平成16年に「デマンド交通システム」に「スクールバス機能」を併せ持つ、巡回・デマンド複合型の新総合交通システムを導入し運行を開始した。

問 循環バスやデマンド交通を私はドアトドアで運行しているふれ愛タクシーの増車が、町民・交通弱者等のために一番だと思うが町としてどう考えるか町長に伺う。

町長 ふれ愛タクシーは利用者が偏在し全体的にカバーができていない状況がある。周縁部の住民の安定的な交通の確保のため循環バスを検討している。多様な移動手段があることが望ましくバスの試行運転を実施すること等により運行について、一段グレードアップし、きめ細かな総合的交通政策として、4つの交通手段をうまく組み合わせせていき総合的に判断していく。

問 町として考える循環バスはどのようなイメージのものか伺う。

企画財政課長 循環バスは、買物や病院、公共機関の利用などが困難な方やすいふれ愛タクシーを利用できなかった方への対応、公共交通機関を利用している移動手段の向上を図る目的である。



平成16年から運行を開始しているふれ愛タクシー



小早稲 美穂議員

問

投票率を上げるための今後の取り組みは

答

国・県と協力し啓発を進め
学校で主権者教育を進めていく



白井 則邦議員

問 統一地方選挙や参議院議員選挙における選挙公報の配布状況は。

選挙管理委員会書記長 新聞折込を5750部、町広報紙等を郵送希望している世帯に281部、その他公共施設に各100部程度設置した。また、町ホームページでも選挙公報を見ることができ。

問 投票率を上げるための今後の取り組みは。

選挙管理委員会書記長 今後は、国、県と協力し、更なる啓発を進めていくほか、町内の各学校での主権者教育を進め、投票率の向上に努めていきたい。

国保の18歳未満の均等割は減免できないか

問 国民健康保険の制度開始当初と現在の職業構造はどう変わったのか。

税務住民課長 国民皆保険が達成された昭和30年代は、保険加入者の多くが農林水産業者や自営業者であったが、高齢化や産業構造の変化などにより、現在では、年金受給者や非正規雇用者等が加入者の多くを占めている。

問 資産割を廃止したことによる不足額は。

税務住民課長 平成30年度の国民健康保険の被保険者を対象に調査したところ、約3100万円課税額が減少する見込みであった。

問 保険料改定の予定はあるのか。

税務住民課長 毎年県から示される県への納付金額等により検討していきたいと考えている。

問 18歳未満の児童において、2割、5割、7割軽減世帯に該当する児童数は何人いるのか。

税務住民課長 令和元年度当初賦課時点で177人である。

問 18歳未満の児童の均等割を減免する予定は。

税務住民課長 町独自で減免するにはその財源が必要になり、県の国民健康保険運営方針で法定外繰入れはしない方向性が示されている。また、法定外繰入れをすることは、被保険者以外の方にも負担を求めることになることから、町独自で18歳未満の均等割の減免をすることは問題があると考えている。

問

現在計画している循環バスの運行経費等は

答

運行日数、時間、本数にもよるが
年間約1千万円から2千万円



齊藤 博議員

問 町内定時循環運行バスについて「来年度の早い時期に実施したい」と表明した循環バス運行制度は、ふれ愛タクシーを補完するため、町内に17か所の停留所を設置し、午前、午後1回ずつ運行するものと考えていいのか。

企画財政課長 現在、利用者数などの想定を含め循環バスの運行システムの構築に向けた事前準備をしているところであり、今後、住民ニーズを踏まえたきめ細やかな運行システムの構築に向け、令和2年度中を目標に準備している。なお、土日の運行、午前午後に数本運行できるか検討している。

問 バス車両は現有の3台を使うのか、別に購入するのか。

企画財政課長 現在のふれ愛タクシーを定時循環させるものではない。

問 私は、停留所まで歩かなければならないとなると利用者は少ないと思う。ドアtoドアの現在のバスの方が喜ばれるので、一台減らした分を増やした方が良いと思う。路線バスが廃止になったのも、採算上の問題からだと思う。町で運営するのは困難だと思

問 ふれ愛タクシーの運行を受託している社会福祉協議会との協議は必要不可欠だと思いがどうか。

企画財政課長 現在、循環バスの運行に向け、庁内において運行システム構築に向けた事務を進めているところであり、運行システムの構築にあたり「ふれ愛タクシー」の委託先である社会福祉協議会は、ふれ愛タクシー利用者からの要望やニーズを把握しており、循環バスの運行が町民のための移動手段の増および利便性の向上を図る観点からも十分意見を聞き協議を重ねて、運行システムの構築に向け準備を進めていきたい。

問

上岩橋上郷地区（福美造園下）の通学路の安全対策と片側通行解消を

答

待避所等の安全対策をしており、今後も現道用地内で対策を検討する



竹尾 忠雄議員

問 上郷地区の町道は学校、PTA、上郷区長から要望書が提出されている。

共産党の交通量調査では朝6時半から8時で自転車通学の生徒33人、自動車378台、バイク16台が通行した。国道51号と国道296号を結ぶ幹線町道だが片側通行となっており、事業化すべき優先順位が高い道路である。調査費を予算化し、新年度で改良工事をすべきと思うが町の考えを伺う。

まちづくり課長 これまで待避所の設置、すべり止めカラー舗装や幅員減少の警戒標識の設置等、安全対策を実施しており、一定の安全は図られているものと思うが、引き続き現道用地内で有効な対策を検討していく。

小中学校の体育館にエアコンを

問 ① 近年の猛暑は命に危険がある状態である。9月2日に共産党町委員会が先生の案内で中学校体育館の調査をしたところ、30度を超える暑さであった。小中学校の体育館は災害時の避難施設としても早急にエアコンの設置が必要と考える。また、生徒が部活

中に温度がわかるようデジタル式の温度計の設置を求める。

こども課長 小中学校体育館へのエアコン設置は、財源などを含め引き続き検討が必要と考えている。温度計は学校と協議していきたいと考えている。

② テニスコート整備は、平成29年度に用地購入し30年度に詳細設計が完了したが、完成の見通しを伺う。

こども課長 テニスコートの移設は、財源の見通しがつき次第、速やかに工事を実施したいと考えている。

③ グラウンドの拡張は平成29年度の基本設計に基づき地権者の立ち合いが行われた。基本設計に基づき事業が行われるのかを伺う。

こども課長 基本設計書を基本に整備を進める考えでいる。

まちづくり課長の経費は

問 これまでの土地購入および建設費等の総事業費を伺う。

経済環境課長 土地購入費1620万円、事業費が9470万6280円、合計1億1090万6280円である。

問

町民の負担軽減および新病院への道路整備を

答

給食費の軽減は考えていない、町道が病院までは9mに拡幅される



地福 美枝子議員

問 子育て支援について次の点を伺う。

① 学校給食費を50%軽減できないか。すべての世帯へ公平な軽減策になると思うが、そのための必要額は。

学校教育課長 学校給食費の軽減は、現時点では考えていない。

② 18歳までの医療費の無料化を。そのための予算額と対象人数は。

こども課長 対象人数が約580人、金額は1264万7000円が必要になると見込まれる。

色覚チェックの導入検討を

問 色覚障害の児童・生徒を把握しているか。また、導入の検討を求める。

学校教育課長 色覚に異常のある児童生徒は、小学校に7名、中学校に2名と確認している。小学校では、申し出があれば色覚チェックを使用するとし、中学校では、すでにすべての教室で色覚チェックを使用し、当該生徒が困らないよう配慮している。

国民健康保険税の軽減を

問 18歳未満の均等割を無くせないか。

人頭税じんとうぜいのようなこの仕組みは、他の保険に比べ税負担が重い。

町長 国保制度の制度設計に関わる事柄は、国が責任をもって対応すべきものと考えている。子どもに係る均等割保険税の軽減措置は、地方から国へ提言・提案しており、今後も国の検討状況を注視していきたいと考えている。

道路の整備状況と舗装計画は

問 ① 新病院の周辺には、保育園や消防署がある。周辺の道路はどのようなのか示してほしい。

まちづくり課長 病院へは岩橋保育園脇の町道を通して進入する計画であり、町道は病院まで片側歩道のある幅員9メートルの道路に拡幅される。

② 中央台1丁目から消防署へ行く道路の整備について、現在の状況は。

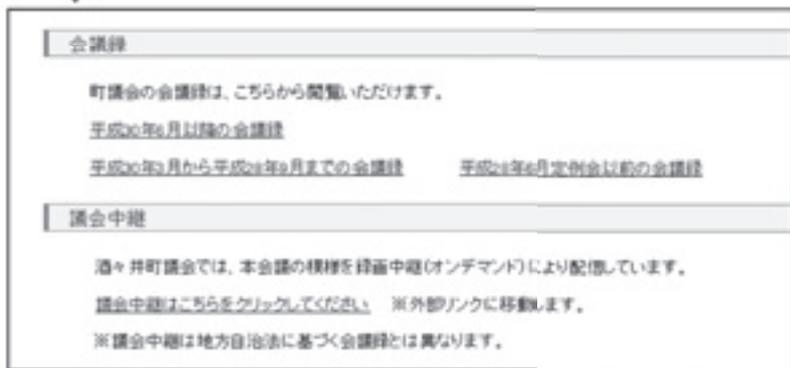
まちづくり課長 事業用地の確保に向け用地交渉に努めている。

③ 東酒々井等の水道管工事後、いつ本舗装をするのか。

上下水道課長 町の舗装工事は10月初旬に工事着手の予定である。



「酒々井町議会」と検索し議会トップページを表示。



ページ最下部の「議会中継はこちらをクリックしてください」部分をクリック。



酒々井町議会 議会中継のページが表示されます。

※動作環境によりご覧いただけない場合があります。

議会インターネット中継開始

パソコンやスマホで本会議の動画が見られます

酒々井町議会では、令和元年9月定例会から「録画によるインターネット中継」を開始しました。

これは、昨年実施された議会改革特別委員会で、平成31年度中に実施すべきと決定したことから、本年度に実施

したものです。

中継動画は、本会議が終了した後、おおむね1週間ほどでインターネットで公開されます。

また、12月定例会からは、インターネットによるライブ中継（生中継）も

実施予定となっております。

今後も「開かれた議会」を推進し、町民の皆さんが、議会を身近に感じられ、正確で迅速な情報公開に努めてまいります。

問い合わせ 議会事務局 ☎251

議会基本条例特別委員会を設置

平成29年から平成30年度に設置された議会改革特別委員会で議会基本条例については、時間をかけ深い議論をすべき事項であり、今年度に当選した議員が内容を精査し、制定すべきと決定されていたことから、令和元年9月定例会において、議会基本条例特別委員会を設置しました。

なお、委員は議員全員が委員となり、委員長に川島議員、副委員長に齊藤議員が就任しました。



副委員長 齊藤 博議員



委員長 川島 邦彦議員

議会基本条例を学ぶ

山梨県昭和町で議員が研修

令和元年10月10日に町議会議員が山梨県昭和町を訪れ、視察研修を行いました。

昭和町議会は平成22年に山梨県で初めて議会基本条例を制定し、その後、平成26年には一部改正、平成30年に大幅な改正を行うなど、議員間での活発な議論により、その時、その状況に即した議会基本条例を見直しています。



あいさつで酒々井町の紹介をする江澤議長



昭和町議会の説明を聞く町議会議員

また、昭和町議会では、「学ぶ議会」「行動する議会」「改革・変革する議会」を柱とし、議会改革を進めており、山梨学院大学との提携や住民参加型の意見交換会や政策提案会などを実施しています。

当町においても、本年9月定例会で「議会基本条例特別委員会」を立ち上げたことから、今後の制定に向け、非常に参考になる取り組みを学ぶことができました。



講演では議員候補者の育成も重要と説明を受けました

地方議会が抱える課題と一般質問の重要性を学ぶ

～県内の町村議会議員が集まり研修～



元横須賀市職員で議会学、政治史等が専門の田口氏

令和元年8月1日にオークラ千葉ホテルで千葉県町村議会議長が主催した「千葉県町村議会議員研修会」に当町の議会議員が参加しました。

研修会では、「地方議会の諸課題について」「議会における効果的な一般質問について」と題し、新潟県立大学准教授の田口一博氏から講演をいただきました。

田口氏からは、町村議会が置かれている現状や議会に期待されていること、また、一般質問においては、効果的な方法の一例として他市町村議会や県議会との連携により、行政に対して同時多発的に質問を実施するなどの手法を学びました。

ドイツ・ドルフェン市議員団と意見交換

令和元年10月6日の酒々井・千葉氏まつりにドイツ・ドルフェン市から市長と議員団、関係者の11人が来訪されました。当日の昼食時に町議会議員と意見交換会を行い、議会の制度や取り組み状況などを話し合いました。



意見交換をする町議会議員



民族衣装でまつりに参加した議員団

イノシシ被害に対応 捕獲用のわなや猟友免許取得者への補助金等を計上

令和元年8月臨時会で上程された議案は次のとおりです。

※全員賛成で可決

議案

〔議案第1号〕

消費税の引き上げにより
上下水道の関係法令を改正

消費税率10%引き上げに伴い、上下水道課所管の関係条例を改正するもの。
※賛成多数で可決

〔議案第2号〕

イノシシ対策で一般会計を増額補正

イノシシ対策に伴う有害鳥獣駆除対策事業費を増額するもので、猟友会等の見守り委託料、捕獲用のわな、猟友免許取得者への補助金、電気柵設置の補助金を増額するもの。

<一般会計補正予算額>

補正前	67億1697万4千円
補正額	309万9千円
合計	67億2007万3千円

議案への 反対討論

〔議案第1号〕

消費税増税に反対

地福 美枝子 議員

日本共産党は消費税の増税に反対である。これ以上の町民負担は許せないことから反対する。

諮問

〔諮問第1号〕

人権擁護委員に林洋子氏を推薦

人権擁護委員の林氏が9月30日に任期満了になることに伴い、千葉地方務局長から後任の推薦依頼があり、引き続き人権問題に深い理解があり、人権擁護委員として実績のある林氏を推薦するため、議会の意見を求めるもの。
※全員賛成で適任



林 洋子さん

本会議での 議決結果

議案と議決結果（町長提出のもの） 賛成・・○ 反対・・× 議長は採決に加わりません

番号	件名	採決結果	本会議の採決結果																		
			小早稲	白井	大石	酒瀨川	金塚	須藤	御園生	川島	齊藤	内海	佐藤	江澤(議長)	竹尾	地福	越川	高崎			
1	水道給水条例等の一部改正	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	一般会計補正予算（第2号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問1	権擁護委員の推薦につき意見を求めること	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※件名は一部省略しています。

小学生・中学生議員に**聞**きました

酒々井町ってどんな**まち**？

議員になったら

どんな**町**にしたい？

自然豊かで
過ごしやすい町

みんなが暮らしやすい町

酒々井小学校 6年 藤野 杏菜

歴史と自然がたくさん
あっていいまち

町民の笑顔が溢れる
明るい町

酒々井小学校 6年 林 音芭

歴史や自然が多くて
とてもいいまち

町民の提案などをしっかり
聞いて明るい町にしたい

酒々井小学校 6年 宮原 悠

緑豊かで歴史ある
活気あふれる優しい町

外国の方でも暮らしやすい
誰でも快適に過ごせる町

酒々井中学校 3年 土屋 太陽

水が豊かで近くに必要な
店があり暮らしやすい町

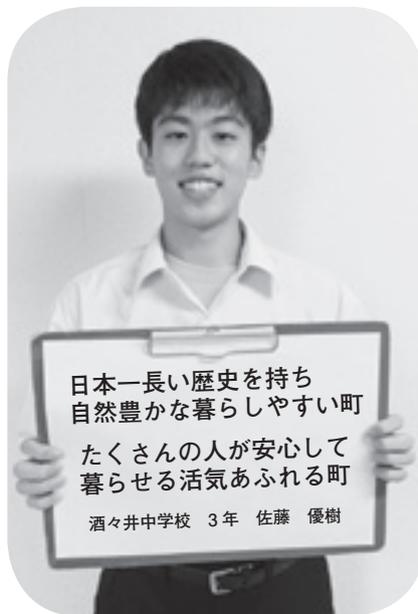
人が多く豊かで子どもから
高齢者まで安心できる町

大室台小学校 6年 熊岡 大翔

子どもから高齢者や
障がい者など色々な人の
ことを考える優しい町

住む人すべてが住みや
すぐ交通の便がいい町

大室台小学校 6年 杉谷 美夜



小・中学生議員が町長に

質問

地域活性化や安全対策などの普段感じていることを子どもたちが質問・提案

こども模擬議会が10月16日に役場3階議場で開催され、酒々井小学校、大室台小学校、酒々井中学校の各代表者が参加しました。当日は、議長以外の13人が町の活性化や交通、施設整備など町政に対して普段感じていることや疑問に思っていることを質問しました。



当日参加した小中学生と町長、議長、副町長、教育長



質問者席で堂々と発言する小学6年生の議員

模擬議会の最後には、議長を務めた遠藤空流さんから「日々町を良くするために対策が講じられているのだと感じた。今後は、町に関心を持って今、自分が町のためにできることを意識し、町に協力していききたい。」とあいさつがありました。

<小・中学生議員質問一覧>

- | | |
|---|--|
| ① ^{みやはら ゆう} 宮原 悠 (酒々井小 6年)
映画館や子どもが室内で過ごせる場 | ⑧ ^{おおがし こうすけ} 大岸 洸介 (酒々井中 3年)
公共施設の環境整備 |
| ② ^{はやし おとは} 林 音芭 (酒々井小 6年)
温水プールの設置計画 | ⑨ ^{やの まいか} 矢野 舞夏 (酒々井中 3年)
私たちと外国の方々との酒々井町での生活 |
| ③ ^{ふじの あんな} 藤野 杏菜 (酒々井小 6年)
外国の方への酒々井町のPR方法 | ⑩ ^{えびはら なな} 海老原 なな (酒々井中 3年)
JR酒々井駅内の環境 |
| ④ ^{すぎたに みよ} 杉谷 美夜 (大室台小 6年)
バスやタクシーの運行本数 | ⑪ ^{さとう ゆうき} 佐藤 優樹 (酒々井中 3年)
違法駐車への対応 (体調不良のため欠席) |
| ⑤ ^{くまおか だいと} 熊岡 大翔 (大室台小 6年)
カンカンム口横穴群の整備 | ⑫ ^{きむら ゆいと} 木村 唯人 (酒々井中 3年)
アウトレット周辺地域の活用 |
| ⑥ ^{つちや たいよう} 土屋 太陽 (酒々井中 3年)
防災無線の活用方法 | ⑬ ^{さいとう はるや} 斉藤 大弥 (酒々井中 3年)
酒々井町の自家発電の普及率 |
| ⑦ ^{いしがき ななみ} 石垣 七海 (酒々井中 3年)
町の安全対策 | ⑭ ^{いずみ すず} 和泉 鈴 (酒々井中 3年)
通学路の安全対策 |

12月定例会のお知らせ

次の定例会は、12月3日に開会する予定で会期は、11月26日に開催予定の議会運営委員会で決まります。会期が決まりましたら、ホームページやポスターでお知らせします。

また、本会議は、一般に公開され、傍聴することができます。なお、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

☎ (496) 1171
(内線251、252)

編集にあたって

台風15号、19号で被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

一日も早い復旧と生活再建に向け、「希望がゆきわたる社会」になるよう、町議員団も最大限に尽力してまいります。

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 齊藤 博 |
| 副委員長 | 大石 法子 |
| 委員 | 須藤 伸次 |
| 委員 | 酒瀬川 芳子 |
| 委員 | 白井 則邦 |
| 委員 | 小早稲美穂 |